



議会だより



- P2 補正予算
- P6 一般質問
- P12 委員会レポート

伝統芸能を次世代へ
(大衡中学校総合学習)

総額 47億5200万円



区画線引き直しが必要なクリエートパーク駐車場

令和7年第2回定例会は、6月3日から4日までの2日間にわたり開かれた。村長提出案件は、同意4件、承認4件、令和7年度予算の補正4件、報告4件の全16議案が提出され、全て原案のとおり可決された。

主な質疑

クリエートパーク 駐車場整備工事

問 クリエートパーク、おひら館駐車場整備の304万円は当初予算に計上出来なかったか。

答 11月に開催されるクラシックカーイベントの誘致で駐車スペースの区画線整備が必要となるため。

問 村内各施設の駐車スペースの区画線が消えているのが見受けられるが整備が必要ではないか。

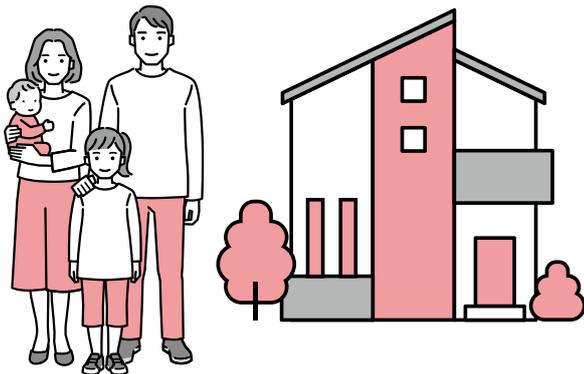
答 今後各施設の状況を確認し順次に整備していきたい。

定住促進補助金

問 移住定住者への住宅建築補助金が、当初予算では計上されておらず補正予算で計上された理由は。

答 7年度から担当課が変更になり、引継ぎが十分でなく当初予算が計上されていなかった。

若者世帯1250万円、3世帯同居250万円、合計1500万円を補正予算として追加する。



補正 予算

2212万円

補正の主なもの

◎歳入

物価高騰対応地方創生交付金 ……615万円
村債 ……1,260万円

◎歳出

定住促進補助金 ……1,500万円
定額減税給付金 ……600万円
クリエートパーク駐車場整備 ……304万円

こども園通園バス

問 当初予算でこども園通園バスの運行委託費が不足したため専決処分で予算追加をしたが、臨時会を開催して補正予算を提案するべきではなかったか。

答 本来は専決処分ではなく臨時会で補正予算を提案すべきであったが、4月初めからのこども園通園バスの運行に支障をきたすので専決処分とした。

主 な 質 疑



スクールバスで通園する こども園児

定額減税給付金

問 定額減税は6年度で終わっていると思うが、600万円はどのような交付なのか。

答 6年分所得確定により該当者が増加した。内訳は所得税分3万円・住民税分1万円、計4万円の150件分である。

令和6年度各種会計補正予算

補正の主なもの

◎歳入

地方譲与税及び各種交付金 …… 3,527万円
 ふるさと寄附金 …… 832万円
 基金繰入金 …… △5,357万円

◎歳出

ふるさと基金積立 …… 826万円
 物価高騰対策給付金 …… △336万円

ふるさと寄附金

問 ふるさと納税の寄附金
 832万円の詳細は。

答 個人寄附金222万円、
 企業版610万円を追加し
 て832万円となっている。

問 個人寄附金や企業版ふ
 るさと寄附金が増えた理由
 は。

答 企業立地セミナーやふ
 るさと納税セミナーのプレ
 センテーションの効果が大
 きい。



大衡村にぜひお越し下さい! (企業立地セミナー)

主 な 質 疑

物価高騰対策

問 物価高騰対策給付金予
 算が減額されているが実績
 は。

答 住民税非課税世帯を対
 象とするもので、3万円を
 407世帯に、子供加算と
 して2万円を44人に給付し
 ている。

国保会計繰入金

問 国保会計予算歳出で保
 険給付費を減額した分、予
 備費1500万円を増額し
 ているが、一般会計や基金
 からの歳入繰入金を減額す
 べきではないか。

答 歳出の減額分は、国保
 財政調整基金や一般会計か
 らの繰入金を減額するべき
 であつたと認識している。
 今後は留意したい。

任命
同意

農業委員の任命

採決結果

賛成 11 反対 0

任期

令和7年7月20日～令和8年7月19日

※前委員の残任期間を引き継ぐ



ほそかわ みなこ
細川美奈子氏

選任
同意

固定資産評価審査委員の選任



ささき おさむ
佐々木 修氏



さいとう ひさし
齋藤 久氏



さいとう ひろし
齋藤 浩氏

採決結果

賛成 11 反対 0

任期

令和7年7月1日～令和10年6月30日

わかりやすい議会だよりを目指して!

(議会広報視察研修) 令和7年5月21日～22日 岩手県金ケ崎町・雫石町

議会広報全国コンクールで入賞している金ケ崎町・雫石町を訪問しました。



私たちの編集モットー

わかりやすく読みやすいように

議員自らの手で

皆さんの声を紙面に

早く届けられるように

一般 質問

5名の議員が村政を問う

質問者一覧表

鈴木 和信

- ・村の田んぼをどう守るのか
- ・高齢者の健康増進への取り組みは

小川 克也

- ・小中学校再編について

石川 敏

- ・住宅防音工事空調機器の機能復旧について
- ・河川堆積土砂の撤去促進について

早坂 美華

- ・小・中学校のプール授業外部委託の考えについて
- ・SNS等の更新について

赤間 しづ江

- ・住民の健康をどう守るか

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。

議会を 傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

9月2日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉ gikai@village.ohira.miyagi.jp



かずのぶ 和信 議員
すずき 鈴木

村の田んぼをどう守るのか 地域の計画プランを支援する

圃場整備の推進

問 現在、大衡村の圃場整備率は10%と県内最下位だが、低コスト農業を実践するうえで圃場整備は必要不可欠であると考えますが、農家負担率は何%か。

村長 原則12・5%だが担い手に農地集積条件を満たせばゼロにもなる。地域計画を踏まえて考えていきたい。

担い手農業者の支援

問 担い手が規模拡大するには、新たに設備投資が必要であり補助事業はあるのか。

村長 様々な条件はあるが最大で50%の導入補助はある。



秋の豊作が待たれる田んぼ

独自の農業機械リース

問 高額な農業機械の導入は大きな負担であり、村営の農業機械リース事業で担い手の設備投資の支援を考えては。

村長 農家の意向も把握して持続可能な支援を考える。

高齢者の健康増進への取り組みは 健康寿命の延伸に努める

集会所を核とした活動

問 地区集会所までデマンド交通を利用して高齢者のお茶っこ会や健康増進活動を実施しては。

村長 4月からデマンド交通も利用できるので、率先して参加してほしい。

地区老人会組織の支援

問 健康寿命は、老人会・村老連等が元気に活動することが重要であり、村としても協賛事業の計画とさらなる活動支援をしては。

村長 活発に活動しており、事業展開や支援のあり方を考えたい。



元気にスポーツを楽しむ高齢者

小中学校の再編を しっかりと議論していく



おがわ かつや 議員
小川 克也

児童生徒数

問 現在の小学校児童数は358人、中学校生徒数は178人であるが、10年後の児童生徒及び学級数は。

教育長 小学生は160人で学級数は6クラス、中学生は111人で学級数は4クラスになると予測している。

問 11年後には、小中学校全学級数が1クラスになると予測されている。今後とも活力ある教育環境を構築していただきたい。

教育長 小中学校の統廃合も考慮し、しっかりと議論していく。

学校再編計画

問 児童生徒数の減少は、学校行事や学習機会等に大きな影響を及ぼす。

学校の効率的な運営や教育の質の維持向上を図るため、学校再編計画策定に向けて取り組むべきではないか。

教育長 将来的な小中学校の再編に向けた議論は進めている。なお、義務教育学校である色麻学園の視察に行く予定でもある。

チーム担任制

問 チーム担任制は、複数の教員が1つの学級を担任することで、多くの視点から児童生徒を一人ひとり理解できる利点がある。導入してみてもどうか。

教育長 導入の良さや課題を踏まえて、複数の目で児童生徒を育てる体制づくりをしていきたい。

教育基本方針

問 教育基本方針は20年間変わりが無い。子どもを取り巻く環境が大きく変化している中、基本方針を刷新する考えはどうか。

教育長 村民一人ひとりにとって最も大事にしたいところが記述されている。いつの時代も変わらないと捉え、今後も継続していく。

教育行政

問 教育長は39年にわたり、教育行政の充実に尽力されてきている。教育に関わる豊富な知識や経験を活かし、教育行政を向上させていきたい。

教育長 大衡小学校校長に3年間勤務していた経緯もある。自分ができることを精一杯していきたい。



中学校体育大会での学年リレー



いしかわ さとし
石川 敏 議員

住宅防音空調機器の更新は 年次計画で実施する

防音工事実施状況

問 王城寺原演習場への米軍射撃訓練の騒音対策として、実施された住宅防音工事と、設置されたエアコンの更新状況は。

村長 東北防衛局によると平成9年度から平成19年度まで大瓜上、大瓜下、松原、衛上地区で合計258件の防音工事が実施されている。エアコンの更新台数は把握していない。

工事の周知方法

問 防音工事実施から20年以上経過しており、既に多くのエアコンが自費で更新されている。

東北防衛局では空調機器の機能復旧工事実施にあたり、該当者への周知説明は。



既に更新されたエアコン

村長 事業主体は防衛局であり、希望者へ申請手続き等の住民説明会を予定している。

工事計画

問 防衛局の復旧工事年次計画は。また村ではどう対処していくのか。

村長 エアコンや建具等の更新は希望者には全て実施していく予定である。村では早期に復旧工事が完了するように防衛局に要望していく。

河川の堆積土砂の撤去を 良好な河川管理に努める

土砂撤去状況

問 県や村管理河川の土砂撤去工事の進捗状況は。

村長 村内には国管理1河川、県管理7河川、村管理6河川ある。

令和6年度までに、県では5河川、延長2245m、村では3河川、延長2592mの土砂撤去を実施済みである。

県では今年度も引き続き2河川で実施していく。

善川神明堰

問 善川最上流の神明堰に大量の土砂が流入しているが、その原因と土砂撤去作業の計画は。

村長 神明堰周辺に土砂流入していることを確認したが、原因については特定できない。

農業用水など堰の維持管理に支障をきたしているのので、河川管理者である県に早急な土砂撤去を要望している。



神明堰に流入した大量の土砂



はやさか みか 議員

プール授業外部委託の考えは 水泳授業を総合的に考える

プール経過年数

問 小学校プールは建設後46年が経過し、村民プールは25年が経過している。1年間の維持管理費と今後の修繕内容と費用は。

教育長

小学校プールの維持管理費は約120万円、村民プールは150万円である。今年度小学校プールの過機の修繕250万円、村民プールの過機の修繕に70万円を予定している。

水泳授業委託

問 プールの老朽化、教職員の負担軽減、授業時間の削減、安全面の考慮によりプール授業の外部委託が増えている。本村も検討すべきではないか。

教育長

今は考えていないが、施設の老朽化を考えると水泳授業の在り方を考える必要がある。

村民室内プール

問 村内にプール授業でも使え、授業以外の時間は村民の方も利用が出来る「村民室内プール」を建設する考えはないか。

村長

プールでの運動は健康にも良い。今後の小・中学校の事も含め10年先を見据えて総合的に考えていく。

SNS等の更新に力を入れていく 全課協力し進めていく

SNSの役割

問 さまざまなSNSでの発信を行なっているが、それぞれの役割は何か。

村長

LINEは防災情報や無線放送の内容・Xは村内外双方の情報発信・インスタグラムは広報誌への掲載を見送った写真である。

本村の魅力と発信

問 副村長に就任し2ヶ月が経過したが、大衡村の魅力は何が。その魅力をどのように発信していくのか。

副村長

自然が豊富な所が魅力である。村広報委員長をしていて、縦割り感を感じるので住民目線で発信していく。

公式YouTube

問 公式YouTubeの更新がされていないが、もっと活用すべきではないか。

村長

包括連携協定を結んでいる尚綱学院大学とPR動画の作成を本年度行う。

大衡村PR大使「ひら麻呂」
SNS始めました



活発な魅力発信に期待



あかま 江しづ 議員

住民の健康をどう守るか

健康ポイントで運動習慣を支援

受診率の推移

問 総合健診の受診率はコロナ禍後どう推移しているか。また受診率のさらなる向上策は。

村長 令和6年度の受診率は40歳から74歳の特定健診は60%、75歳以上の後期高齢者は41・5%であり、コロナ禍前の令和2年度と比較し、それぞれ約10ポイント上昇している。

集団健診未実施全員に受診勧奨を行い、無線放送、LINEでの情報発信に加えWEBでも対応しており、申込みしやすい環境を整えている。

がん検診

問 働き盛り世代を直撃し2人に1人がかかる時代といわれているがん検診への働きかけ強化を。

村長 総合健診一括申込書でがん検診が空欄の方に、受診勧奨を実施している。精密検査未実施者には、保健師が電話や訪問をして受診を促している。

健康ポイント

問 老若男女問わず取り組める「健康ポイント事業」の目的は。

村長 村民が「自ら健康をつくる」意識を持ち、運動習慣や健康づくりの「きっかけづくり」となることを目指すものである。ポイントカードへの記入式で、高齢者でも参加しやすい事業となっている。

血圧計・体重計の設置

問 健康づくりの環境整備として、公共施設に血圧計と体重計を設置しては。

村長 血圧計は、役場村民ホール、平林会館、福祉センターに設置している。血圧や体重は、毎日同じ条件での測定と記録が重要である。正しい測定の仕方と記録について周知したい。

健康情報発信

問 人口5500人の大衛村だから出来るきめ細かい健康づくりの情報発信と気運を継続するための対策は。

村長 健康づくりの事業や情報は、あらゆる発信ツールを活用し広く周知する。各地区には住民グループが多く活動しており、保健師等によるミニ講話を企画し健康情報を届けていく。



総合検診で健康をチェック!!

調査年月日：令和7年5月14日・16日

地域包括支援センター運営事業

はつらつ塾実施状況

| | 回数 | 延べ利用者 | 1回あたり |
|-------|-----|-------|-------|
| 令和5年度 | 49回 | 558名 | 11.4人 |
| 令和6年度 | 50回 | 522名 | 10.4人 |

◆調査結果意見

地域包括支援センターは村社会福祉協議会委託3年目となる。各関係機関と連携をさらに図り、切れ目のない支援を構築していただきたい。



カードゲームで集中力アップ（はつらつ塾）

幼児保育

村内幼児人数（令和7年4月）

| 施設名 | 5歳児 | 4歳児 | 3歳児 | 2歳児 | 1歳児 | 0歳児 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 万葉こども園 | 31 | 27 | 22 | 15 | 16 | 4 | 115 |
| ききょう平 | 5 | 5 | 2 | 5 | 4 | 0 | 21 |
| 村外幼稚園等 | 7 | 10 | 9 | 3 | 1 | 0 | 30 |
| 在宅児童 | 0 | 1 | 2 | 8 | 6 | 18 | 35 |
| 合計 | 43 | 43 | 35 | 31 | 27 | 22 | 201 |

◆調査結果意見

少子化により幼児数の減少は顕著に現れている。数年後の園児募集等に影響を与えるため、新たな支援策が必要と考える。

デマンド型交通「のらいん」

デマンド型交通の運行状況

| | 令和6年4月 | 令和7年4月 |
|------|--------|--------|
| 日数 | 21日 | 21日 |
| 乗車数 | 541人 | 747人 |
| 1日平均 | 26人 | 35.5人 |
| 車両台数 | 2台 | 3台 |

◆調査結果意見

着実に村民の生活を支える交通手段として定着している。利用者の声を精査しつつ、より良いデマンド型交通を目指してほしい。



便利で使いやすいです♪

調査年月日：令和7年5月12日・13日

五反田北住宅1号棟解体工事



解体予定の五反田北住宅1号棟

予算特別委員会で解体費用1億1200万円を計上、補助率1/2との説明であったが、国費補助内示が1/4になるので解体工事は7年度末で完了したいが、財源の動向を見て進める。

◆調査結果意見

財源の確保と年度内事業完了を早期に進められたい。

ALT授業

ALTと生徒が直接英語で会話を行う。
中学校に火曜日・木曜日にALTが来訪し英語力アップに取り組んでいる。

◆調査結果意見

ALTと日常会話を積み重ね、英語の楽しさを学び、英語力上昇に努められたい。

※ALT

外国語指導助手。英語授業で発音指導などの補助を担う。



Let's speak English

上北沢排水処理場の整備

今後のスケジュール

- ・令和7年度 用地取得、実施設計、試験施設工事
- ・令和8～9年度 水質データ収集
- ・令和10年度 本格整備工事

◆調査結果意見

詳細な住民説明会の開催と検討委員会で議論を重ね、新たな処理施設を早期に整備されたい。



大衛小学校 6年
いとう しょうま
伊藤 翔真さん

プロ野球選手を目標に

僕の将来の夢は、プロ野球選手です。なぜなら、夢を与えられる人になりたいからです。夢を与えられる仕事は様々あると思いますが、その中でもプロ野球選手になりた

いと思いました。野球が好きということもありますが、今の僕は人と関わることが苦手なので、人と多く関わる野球選手になって、自分を変えていきたいと思っています。そのため、習い事の野球を頑張り、中学校では部活動も一生懸命に頑張りたいです。もちろん、野球だけでなく、国語や算数などの学習にも全力で取り組もうと思っています。夢に向かって少しずつ、一歩、一歩、進んでいきたいです。



大衛中学校 2年
ささき こほね
佐々木心羽さん

理学療法士に

私の将来の夢は、理学療法士になることです。きっかけは祖父の介護を手伝ったことでした。私の祖父

は脳梗塞で普通の生活が困難な為サポートが必要でした。私がサポートすると出来るようになり、祖父の笑顔が増えていった事にやり甲斐を感じました。その時身体が不自由になつてしまった人を普通の生活に戻すお手伝いをできる人になりたいと思いました。夢に一歩でも近づけるよう、信賴してもらえ人になれるよう努力します。

わたしの夢

家族と地域へ感謝

嫁いで20数年。慣れない土地での暮らしも、地域のあたたかな子育て支援に支えられて、ここまで歩んでくる事ができました。気づけば子どもたちも大きくなり、もう少して子育ても一段落。ほっとする気持ちと同時に、少しだけ寂しさも感じています。忙しかった毎日から解放されて、ようやく自分の時間を持てるようになった今、これからは

駒場 泉 貴美枝さん

自分自身のための時間を大切にしていきたいと思うようになりしました。趣味だったり、友人とおしゃべりしたり、そんな小さな楽しみを重ねながら、第二の人生を自分らしく、穏やかに謳歌していけたらと願っています。支えてくれた家族や地域への感謝を胸に、これからの毎日を大切に歩んでいきたいと思っています。

みんなの声



飲み友と乾杯 (前列右 泉さん)

表紙写真

村指定文化財の郷土芸能である「大瓜神楽」を次世代へ継承していく一環として、中学校で神楽を披露しました。

あとがき

議会だよりは、それぞれの市町村で特色ある作り方をしています。限られたスペースに掲載するため、要約をすることもありますが、詳しくは表紙のQRコードで大衛村議会にアクセスして見てください。

鈴木 和信

- 大衛村議会
広報広聴常任委員会
- 委員長 赤間しづ江
 - 委員 石川 敏
 - 副会長 小川 克也
 - 委員 鈴木 和信
 - 早坂 美華
 - 山本 信悟
- 発行責任者 高橋 浩之

